



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukayadai>

令和5年9月29日

10月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

新たなつながりに向けて

校長 角井 治朗

厳しかった暑さもようやくやわらぎ、辺りから聞こえてくる虫の音に、秋の訪れを感じる頃になりました。

学校では、記録的な暑さの中、4年ぶりに全校で取り組んだ水泳学習が、9月15日をもってすべて終了し、25日には、プール納め朝会も終わることができました。水泳学習開始直前にプール循環器の故障が発生し、一時はどうなることかと心配しましたが、教育委員会や関係業者の方々が、「何とか子どもたちがプールに入れるように。」と対応を考えてくださり、実施にこぎつけることができました。また、突然の予定の変更にもご理解いただき、準備等にご協力いただいた保護者の皆様にも感謝申し上げます。プールから響いてくる子どもたちの歓声を聞くにつけ、改めて学校は多くの方々の協力のもとに成り立っていることを強く感じた次第です。

さて、今年度、本校では、「目の前の事象に興味をもち、自ら発見した問題に夢中になってかわっていく子の育成」をテーマに、生活科と総合的な学習の時間を中心にした校内研究に取り組んでいます。人や自然、社会とのかかわりを大切にしながら活動し、共に学び合えるような場をつくっていくことで、主体的に考え、判断し、よりよく問題を解決する資質・能力を育てることを目指しています。コロナ禍の中、人や社会とのつながりが希薄になってしまった面があることは否めませんが、こうした学習活動を機に、人、もの、こととの新たなつながりをつくっていくことが、今年度の本校の大きな目標でもあります。そして、このような計画のもと、9月14日には、第1回目の授業研究会を行いました。低・中・高学年の1クラスずつが授業を公開し、お互いに見合ったり、成果や課題を協議し合ったりするとともに、教育委員会の指導主事を講師としてお招きし、ご指導をいただきました。授業では、どのクラスも子どもたちが生き生きと学習に取り組む姿が見られましたが、これから授業づくりをしていく上での課題も見つかりました。これらの成果を生かし、10月以降、さらにそれぞれのクラスの学習が充実していくよう取り組んでいきます。とかく学習の様子が見えにくい教科ではありますが、ぜひ、ご家庭でもお子さんがクラスでどのような活動をしているのか話題にしてみてくださいと思います。そうした会話がきっかけとなり、次の活動への意欲や考える手掛かりにつながっていくことも大いにあることでしょう。

水泳学習も終わり、次はいよいよ10月28日(土)に予定している「ヨコスポ2023」(運動会)に向け練習が本格化します。子どもたちの負担などを考え、時間短縮の取組は継続しますが、ようやく感染症拡大防止等による制約のない運動会の開催となります。詳しくは、別途ご案内をお配りする予定ですが、ぜひ、多くの皆様にご来校いただき、カ一杯取り組む子どもたちに温かいご声援をいただければ幸いです。